

世界遺産

「古都京都の文化財」 について知ろう!



2~11 ✿ 世界遺産「古都京都の文化財」

11 ✿ 「世界遺産」ってなに？

12~13 ✿ 文化遺産を守り継ぐ「ひと」「わざ」「もの」

14~15 ✿ 無形文化遺産や新たな世界遺産登録候補



「古都京都の文化財 京都市 宇治市 大津市」

平成6(1994)年登録 ~世界の宝 17社寺・城~

全部で17の神社・寺院・城からなる「古都京都の文化財」は、1993年に日本政府からユネスコの世界遺産委員会に推薦され、約1年におよぶ審査を経て、ちょうど平安建都1200年にあたる1994年12月に登録。2014年で20周年を迎えます。



かみ
が
も
じん
じゃ
か
も
わ
け
い
か
ん
じん
じゃ
上賀茂神社
(賀茂別雷神社)

歴史 古代山城国の賀茂氏の氏神として知られ、平安時代以降は下鴨神社とともに「山城国一之宮」となりました。国宝の本殿と権殿は1863年に造り替えられたもので、境内にはこのほか、造り替えられた楼門など40棟の重要文化財があります。



見どころ 境内には緑あふれる広々とした芝生があり、一の鳥居から二の鳥居までの間では、五穀豊穡を願う神事が行われます。また、「賀茂競馬」(葵祭(賀茂祭)) (ともに5月)、「烏相撲」(9月)が催されます。

📍 京都市北区上賀茂本山339

☎ 075-781-0011

🕒 5:30~17:00

🛋 なし 🅇 あり

アクセス▶市バス・京都バス「上賀茂神社前」すぐ、地下鉄「北大路」「北山」駅より車で約5分



しも
が
も
じん
じゃ
か
も
み
お
や
じん
じゃ
下鴨神社
(賀茂御祖神社)

歴史 上賀茂神社とともに京都最古の神社の一つ。11世紀初めには現在の姿に整えられましたが、室町時代の応仁の乱でほとんどを焼失しました。国宝の本殿2棟は1863年に造り替えられたもので、ほかに48棟の建物が重要文化財に指定されています。



見どころ 「葵祭(賀茂祭)」では、神聖な雰囲気の中で、優雅な王朝絵巻が再現されます。また、境内に広がる糺の森は、四季折々に美しい姿をみせ、『源氏物語』など数々の文学に語り継がれています。

📍 京都市左京区下鴨泉川町59

☎ 075-781-0010

🕒 6:30~17:00 (※季節で異なる)

🛋 なし 🅇 あり

アクセス▶市バス「下鴨神社前」より徒歩約5分、京阪電車「出町柳」より徒歩約10分



東とう

寺じ

(教王護国寺)

歴史 平安京造営の際、都の玄関口・羅城門らじょうもんの東につくられました。のちに空海くうかい（弘法大師こうぼうだいし）によって真言密教の根本道場となり、今に至ります。国宝や重要文化財の仏像、絵画などを多く所蔵。また、毎月21日に開かれる縁日は「弘法さん」の名で親しまれています。



見どころ 国宝の金堂こんどう（本堂）は、桃山時代を代表する豪壮雄大な建築です。同じく国宝の五重塔は、現存する木造の塔としては日本一の高さを誇り、京都のシンボルとなっています。大師堂だいしどう、蓮花門も国宝。

- 📍 京都市南区九条町1
- ☎ 075-691-3325
- 🕒 8:30~17:30（※季節で異なる）
- 🛋 休 なし 🅇 P あり

アクセス ▶市バス「東寺東門前」すぐ、近鉄電車「東寺」駅より徒歩約10分、JR「京都」駅より徒歩約15分



清きよ

水みづ

寺でら

歴史 778年に僧延鎮えんちんが音羽おとわの滝上に観音をまつたことに始まり、798年に坂上田村麻呂まろが仏殿こんりゅうを建立したと伝わっています。創建後何度も焼失し、「清水の舞台」として有名な国宝の本堂など現存する建物の多くは、徳川家光の寄進によって再建されました。



見どころ 本堂には、本尊ほんぞんの十一面千手観音立像じゅういちめんせんじゆのんのりゆうぞうを安置。舞台の下方に音羽の滝が流れ、谷を隔てて安産祈願の子安の塔こやすのとうなど重要文化財の建造物けんぞうぶつが連なり、四季折々にすばらしい眺めが楽しめます。

- 📍 京都市東山区清水1-294
- ☎ 075-551-1234
- 🕒 6:00~18:00（※季節で異なる）
- 🛋 休 なし 🅇 P なし

アクセス ▶市バス「清水道」「五条坂」より徒歩約10分



延暦寺

歴史 788年、日本に天台宗を伝えた最澄が建立した比叡山寺が始まり。のちに法然、親鸞、一遍、栄西、道元、日蓮ら仏教各派の始祖となった高僧を世に送り出した修行の寺院です。戦国時代に織田信長による焼き討ちにあったことでも有名です。



見どころ 京都府と滋賀県にまたがる広大な境内には多くの堂塔が建ち並び、国宝の根本中堂、重要文化財の大講堂のほか、美術工芸品を含めて10にのぼる国宝、50以上の重要文化財を有しています。

📍 大津市坂本町4220 📞 077-578-0001
🕒 <東塔>8:30~16:30 <西塔・横川>9:00~16:00(※いずれも季節で異なる)

🛋 なし 🅇 あり

アクセス▶京阪バス・京都バス「延暦寺バスセンター」すぐ、叡山ロープウェイ「比叡山頂」駅より山内シャトルバス「延暦寺バスセンター」すぐ



醍醐寺

歴史 空海の孫弟子聖宝が、醍醐山上に草庵を営んだのが始まりです。951年に建てられた国宝の五重塔は、応仁の乱の戦火も免れ、京都では最古の木造建造物となっています。山上の上醍醐からふもとの下醍醐まで広がる境内には、100あまりの堂塔が点在します。



見どころ 三宝院には見どころが多く、国宝の表書院は寝殿造の様式を伝える桃山時代を代表する建物です。他にも、襖絵や豊臣秀吉が造らせた庭園などに、華やかな桃山文化の特徴がみられます。

📍 京都市伏見区醍醐東大路町22

📞 075-571-0002

🕒 9:00~17:00(※季節で異なる)

🛋 なし 🅇 あり

アクセス▶地下鉄「醍醐」駅より徒歩10分、京阪バス「醍醐三宝院」すぐ



仁
和
寺

歴史 宇多天皇が888年に創建して以来、出家した皇族が住職となったことから、旧御室御所とも呼ばれています。応仁の乱で全伽藍を焼失しましたが、1641～46年に再建。御所にあった紫宸殿を移築して金堂（国宝）に転用したほか、観音堂などを造営しました。



見どころ 「徒然草」「方丈記」など古典文学にも数多く登場する境内は、優雅な雰囲気がたまたよいます。霊宝館には、国宝の阿弥陀三尊像など多くの寺宝を所蔵。遅咲きの「御室桜」も有名です。

- 📍 京都市右京区御室大内33
- ☎ 075-461-1155
- 🕒 9:00～17:00(※季節で異なる)
- 🏠 休なし Pあり
- 🚶 **アクセス**▶市バス「御室仁和寺」より徒歩約1分、京福電車「御室仁和寺」より徒歩約3分



平
等
院

歴史 宇治川の西岸にあった藤原道長の別荘を、その子頼通が1052年に寺院に改めたものです。その翌年に完成し、仏師定朝の作である阿弥陀如来像が安置される国宝の鳳凰堂（阿弥陀堂）は、2014年春に大修理を終え、平安時代の優美な姿に復元されました。



見どころ 鳳凰堂の内部は幻想的な雰囲気がたまたよっており、雲に乗って音楽を奏でる52体の雲中供養菩薩（国宝）が壁面に並んでいます。また、鳳凰堂と池を配した庭園はこの世の極楽浄土を表しています。

- 📍 宇治市宇治蓮華116
- ☎ 0774-21-2861
- 🕒 8:30～17:30(※施設で異なる)
- 🏠 休なし Pなし
- 🚶 **アクセス**▶JR奈良線「宇治」駅および京阪電車「京阪宇治」駅より徒歩10分



宇治上神社

歴史 平等院が建立されると、その鎮守社として宇治川をはさんだ東岸、仏徳山の山裾に建立されました。その後、近隣住民の崇敬を集めて、社殿が維持されてきました。平安時代後期に建てられた国宝の本殿は、現存する国内最古の神社本殿として知られます。



見どころ 国宝の拝殿は鎌倉時代初めの建築で、こちらも現存する拝殿としては日本最古のものです。神のための本殿に対し、人の使う拝殿には住宅風の軽快な建築手法が採り入れられています。

📍 宇治市宇治山田59

☎ 0774-21-4634

🕒 9:00~16:30

🛋 なし 🅇 なし

アクセス▶ 京阪電車「京阪宇治」駅より徒歩10分

※本殿は保存修理工事中(2014年12月完了予定)



高山寺

歴史 774年に開創された寺院を、13世紀初めに明恵が再建して高山寺と改称しました。当初は金堂、阿弥陀堂、十三重塔などが建ち並んでいましたが、中世の戦乱期に荒廃し、1634年に再興されました。国宝の石水院は、明恵時代の唯一の遺構です。



見どころ 石水院は、その建築手法や細部のデザインに鎌倉時代前期の面影を残しています。鳥獣人物戯画や明恵上人像(いずれも国宝)など、文化財の宝庫であり、紅葉の名所としても知られています。

📍 京都市右京区梅ヶ畑梅尾町8

☎ 075-861-4204

🕒 8:30~17:00

🛋 なし 🅇 あり

アクセス▶ JRバス「梅ノ尾」より徒歩約3分



苔こけ

寺てら
(西芳寺さいほうじ)

歴史 奈良時代の開山と伝えられ、1339年に夢窓疎石が禅宗寺院として再興しました。造園にすぐれた疎石は上下二段の庭を作庭。1469年の戦火で寺の建物は失われましたが、疎石の庭園はその石組が苔に覆われながら保たれ、名園と評されています。



見どころ 緑のじゅうたんを敷きつめたような苔が広がる庭は、寺の通称の由来となっています。上は枯山水、下は池泉回遊式。幕末に岩倉具視が隠れ住んだとされる茶室・湘南亭は、重要文化財です。

- 📍 京都市西京区松尾神ヶ谷町56
- ☎ 075-391-3631
- 🕒 ※参拝は予約制(必要事項を記入した往復ハガキで申し込み)
- 🛋 なし 🅇 なし
- 🚶 **アクセス**▶市バス「苔寺道」、京都バス「苔寺」すぐ



天龍寺てんりゅうじ

歴史 1339年に足利尊氏が後醍醐天皇の冥福を祈るために建立した禅寺です。天龍寺船を使った中国(元)との貿易によって、造営費用の不足を補いました。たびたび兵火などの火災にあい、現在の主な建物は明治以降に再建されたものです。



見どころ 夢窓疎石が手がけた庭園は、亀山や嵐山を借景にした池泉回遊式で、優美な貴族文化と厳かな禅文化が溶け合った名園として知られ、室町時代以降に発展する枯山水庭園などにも影響を与えました。

- 📍 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町68
- ☎ 075-881-1235
- 🕒 8:30~17:30(※季節で異なる)
- 🛋 なし 🅇 あり
- 🚶 **アクセス**▶市バス・京都バス「嵐山天龍寺前」より徒歩約1分、京福電車「嵐山」駅より徒歩約1分



金きん閣かく寺じ
(鹿苑寺ろくおんじ)

歴史 鎌倉時代に建てられた貴族の別荘を足利義満あしかが よしみつが譲り受け、1397年に別邸北山殿べつてい きたのに造り替えました。さらに、義満の死後、禅寺に改められました。1950年に金閣を焼失しましたが、1955年に再建されました。



見どころ 寝殿造、和様、禅宗様の三層からなる金閣は、内外部とも金箔ばくで飾られ、北山文化を象徴する華麗な建築です。また、衣笠山きぬがさやまを借景にした池泉回遊式庭園は、池にさまざまな名石を据えています。

- 📍 京都市北区金閣寺町1
- ☎ 075-461-0013
- 🕒 9:00~17:00
- 🛋 なし 🅇 あり
- 🚶 **アクセス**▶市バス「金閣寺前」より徒歩約1分、同「金閣寺道」より徒歩3分



銀ぎん閣かく寺じ
(慈照寺じしやうじ)

歴史 足利義政あしかが よしまさが1482年に造営した山荘を、義政の死後に禅寺に改めたものです。国宝の銀閣は、1489年に建てられた二層の楼閣ろうかくで、書院風の下層と仏堂風の上層からなります。また、1615年に改修されたといわれる庭園は東山文化を代表する名園です。



見どころ 国宝の東求堂とうくどうは書院造の源流といわれ、四畳半茶室の原型・同仁齋どうじんさいがあります。観月のために造られたとされる庭園は、白砂を波形に盛り上げた銀沙灘ぎんしゃだんと円錐形の向月台えんすいだいで有名です。

- 📍 京都市左京区銀閣寺町2
- ☎ 075-771-5725
- 🕒 8:30~17:00(※季節で異なる)
- 🛋 なし 🅇 あり
- 🚶 **アクセス**▶市バス「銀閣寺前」より徒歩約5分、同「銀閣寺道」より徒歩約10分



龍安寺

歴史 ほそかわかつもと 細川勝元が1450年に貴族の別荘を譲り受け、禅寺として建立しました。方丈(本堂)は1797年に焼失したため、その後、西源院せいげんいんの方丈を移築しています。方丈の南側に広がる庭園は、15世紀中期には造営されたと考えられ、世界的に著名です。



見どころ せきてい 石庭として名高い方丈庭園は、土塀で囲まれた枯山水の庭で、白砂に15個の石を配し、「虎の子渡しの庭」と呼ばれています。方丈の北側には水戸光圀が寄進したという手水鉢があります。

- 📍 京都市右京区龍安寺御陵下町13
- ☎ 075-463-2216
- 🕒 8:00~17:00(※季節で異なる)
- 🛋 なし 🅇 あり
- 🚶 **アクセス**▶市バス・JRバス「龍安寺前」より徒歩約1分、京福電車「龍安寺」より徒歩約7分



本願寺(西本願寺)

歴史 しんらんしやうにん 親鸞聖人の娘の覚信尼かくしんにが東山に創建した大谷廟堂が始まり。1591年、豊臣秀吉から土地の寄進を受けて、現在地に移りました。御影堂や阿弥陀堂(いずれも国宝)など桃山期から江戸期を代表する建物や庭園が多く残されています。



見どころ 能舞台としては国内最古の北能舞台、唐門、書院、黒書院、飛雲閣(いずれも国宝)の建造物は、華麗な桃山文化の粋を伝えています。書院の庭園は桃山文化を代表する枯山水様式です。※唐門以外は、通常非公開

- 📍 京都市下京区堀川通花屋町下ル
- ☎ 075-371-5181
- 🕒 1・2・11・12月 5:30~17:00
3・4・9・10月 5:30~17:30
5・6・7・8月 5:30~18:00
- 🛋 なし 🅇 あり
- 🚶 **アクセス**▶市バス「西本願寺前」すぐ



二条城

歴史 御所の守護と将軍の宿泊所として、徳川家康が1603年に造営し、3代将軍家光が伏見城の遺構を移すなどして現在の規模になりました。家康と豊臣秀頼との会見場所となったほか、幕末の1867年には15代将軍慶喜がここで大政奉還を発表しました。



見どころ 書院造の二の丸御殿（国宝）は、狩野一派の障壁画はもちろん、彫刻や飾金具に至るまで桃山美術の粋を伝えます。明治時代に、京都御苑内の桂宮御殿を移築した本丸御殿は、宮家の建築の貴重な遺構です。

- 📍 京都市中京区二条通堀川西入二条城町541
- ☎ 075-841-0096
- 🕒 8:45~17:00(※入城は16:00まで)
- 🏠 年末年始ほか P あり
- 🚶 **アクセス**▶市バス「二条城前」、地下鉄「二条城前」すぐ



「世界遺産」ってなに？

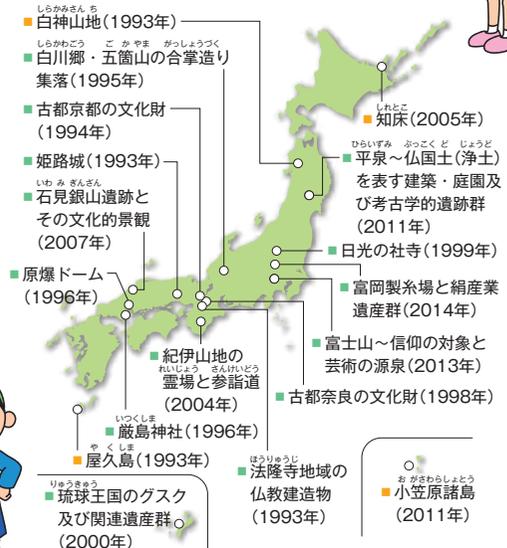
人類共通のかけがえのない財産をみんなで守っていこうと、1972年のユネスコ(国連教育・科学・文化機関)総会で、世界遺産条約が採択されました。文化遺産、自然遺産、その両方を兼ね備えた複合遺産があり、世界遺産委員会の厳しい審査をパスしたものが、世界遺産リストに登録されます。

2013年6月現在の登録件数は、981件(文化遺産759件、自然遺産193件、複合遺産29件)で、このうち日本の世界遺産は17件(文化遺産13件、自然遺産4件)です。そして、2014年6月、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が、国内18件目の世界遺産(文化遺産)として登録されました。

- 文化遺産
- 自然遺産



日本の世界遺産



文化遺産を守り継ぐ

伝統的な「木の文化」



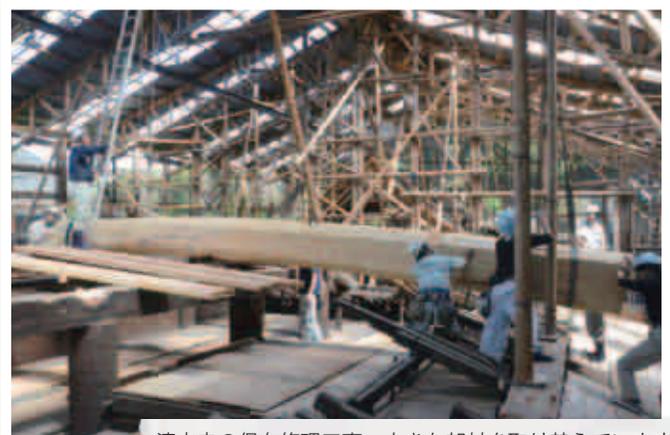
上賀茂神社の保存修理工事

日本の文化遺産が登録される以前の
世界遺産は、欧米のものが中心だった
こともあり、登録建造物の多くが石や
レンガでできたものでした。石やレン
ガの場合、腐って朽ち果てることはな
く、つくられた当時に近い状態で残さ
れていることがほとんどです。

これに対し、日本の建築文化は「木
の文化」であり、お城の堀などに石を
使うほかは、ほとんどの歴史的建造物
で木や土や紙を使っています。そうし
た木造の建物は、石やレンガと違って、
風雨にさらされるなどで傷んでくるた
め、建物を一度解体して組み直すなど
の修理を行う必要があります。



世界遺産に登録された建
造物のように、はるか昔に
つくられた木造建築が、長
い年月にわたってその歴史
的な価値を保ってこられた
のは、定期的に修理を行っ
てきた成果だといえます。



清水寺の保存修理工事。大きな部材を取り替えています

「ひと」「わざ」「もの」

古代から木工技術を駆使^{くし}



建仁寺の保存修理工事

京都には、今から千年も前につくられた建築物が残っていますが、それらの材料は、一定の期間が過ぎると、新しいものに交換されてきました。もちろん、建物全体をつくり替えるのではなく、どうしても取り替えが必要になった部分を交換するだけです。その数十年後に、また傷んだ箇所を取り替えるといった具合に、長い年数をかけて、建物の破損状況に合わせて修繕^{しゅうぜん}していきます。

文化的資産を正確に後世に伝えるためには、建物ができた時代と同じ材料を使い、同じ方法で修理を行うことが大切です。このため、日本の古代から伝わる木工技術をはじめ、屋根葺^{ふき}・壁塗り・建具・彩色など、さまざまな伝統技術が必要になります。これには、国宝、重要文化財などの伝統的建造物の修理（修復）を専門にする宮大工^{みやだいく}や屋根葺師^{ふきし}など高度な技能者が活躍します。



大徳寺の保存修理工事。ヒノキの樹皮を用いる「檜皮葺^{ひわだふき}」と呼ばれる屋根葺工法です

日本人の住まいが、木造建築から欧米風の建築へと移り変わっていく現在、わが国の優れた木造建築を今に伝える「古都京都の文化財」は、日本の伝統的木造建築文化の証人ともいえます。

無形文化遺産や 新たな世界遺産登録候補

無形の文化遺産

2003年のユネスコ総会で、「無形文化遺産の保護に関する条約」が採択されました。建物や遺跡など有形のものとは別に、音楽や舞踊、祭、技術など、人びとが生活の中で育んできた文化を「無形文化遺産」として守っていこうというものです。2013年12月現在、日本からは22件が登録されており、京都と縁の深いものには、「京都祇園祭の山鉾行事」(2009年)、「和食；日本人の伝統的な食文化」(2013年)があります。



和食の原点・京の食文化

和食は、見た目にも美しく、旬の素材を生かした季節感があり、栄養バランスにもすぐれ、海外でも人気があります。その和食の原点とも言えるのが京料理であり、家庭のおかず（おばんざい）です。現在、和食離れが進んでいますが、今回の無形文化遺産への登録をきっかけに、和食文化を見つめ直し、後世に受け継いでいく良い機会にしたいものです。京都府では、2013年3月、「京料理・会席料理」を府の無形文化財に指定し、優れて他の追随を許さぬ技能をもつ個人を保持者に認定しました。また京都市では、同年4月、世代を越えて伝えられてきた無形文化遺産を大切に受け継ぐため、“京都をつなぐ無形文化遺産”制度を創設し、その第1号として「京の食文化」を選定しました。



京都には、「古都京都の文化財」に登録されているもの以外にも、歴史的な遺産と文化的な景観が数多く残っています。府内では、世界遺産と同等の価値があるものとして、「琵琶湖疏水と庭園群」「宇治茶生産の景観」「天橋立」などがあります。



1891年に完成した「琵琶湖疏水」は、日本人だけで設計・施行され、明治期における日本の土木技術水準の高さを示す遺産で、日本初の水力発電も担った日本の近代化の象徴です。現在においても現役で活動し、京都に琵琶湖の水を供給し続け、その水を利用して造られた庭園群は、良好な文化的景観を形成しています。

京都府南部の山城地域は、お茶の生産技術を向上させて、日本茶を代表する抹茶、煎茶、玉露を生み出し、約700年間にわたり宇治茶の生産を行ってきました。「宇治茶生産の景観」は、緑茶としての独自の発展とさまざまな喫茶文化を生み出した歴史を物語る無二の景観で、現在まで脈々と受け継がれています。



「天橋立」は、松島(宮城県)、宮島(広島県)と並ぶ日本三景として知られており、大小約5千本ものマツが生い茂る白砂青松の景観は、古くから多くの和歌や絵画に表現され、日本文化に大きな影響を与えてきました。

京都には他にも、現在の世界遺産に肩を並べる価値のある国宝の建築物などがたくさんあります。



未来につなぐ世界遺産 京都アピール

- 一 地域の文化遺産に関心を持ちましょう
- 一 地域の文化遺産について学び、その大切さを理解しましょう
- 一 地域の文化遺産の素晴らしさを身近な人に、世界の人々に伝えましょう
- 一 地域の文化遺産を守るための活動に参加しましょう
- 一 地域の文化遺産を支える「ひと、わざ、もの」を守り育てましょう
- 一 地域の文化遺産を活かすことで維持し、未来につなぎましょう

*ユネスコの世界遺産条約採択40周年記念最終会合(2012年11月)の京都開催を記念し、世界遺産をはじめ文化財の保護・継承に重要な役割を担う若者等の意識の高揚を図ることを目的に策定されました。

世界遺産「古都京都の文化財」ガイドブック

- ◆平成26(2014)年7月発行
- ◆企画・編集 世界遺産「古都京都の文化財」登録20周年記念事業実行委員会
(京都府・京都市・宇治市)